

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	終末期患者の退院前カンファレンスにおける薬業連携の現状に関するアンケート調査
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	<p>【研究全体】 日本医科大学多摩永山病院薬剤部・主任・近藤匡慶</p> <p>【本学】 大阪大学大学院薬学研究科・助教・仁木一順</p>
3. 倫理審査と承認日	<p>【承認日】2024年3月4日</p> <p>【審査】主たる研究機関である日本医科大学多摩永山病院倫理委員会の一括審査を受け、本学においては大阪大学大学院薬学研究科長の承認を得て実施します。</p>
4. 研究実施期間	2024年3月4日～2025年3月31日
5. 共同研究機関および各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	<p>【研究代表者】 日本医科大学多摩永山病院・薬剤部・主任 近藤匡慶</p> <p>【研究分担者】 順天堂大学医学部附属浦安病院・科長・高瀬久光 同志社女子大学・教授・内田まやこ 大阪大学大学院薬学研究科・助教・仁木一順 地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院・薬剤師・土屋貴 医療法人愛和会 愛和病院・薬剤師・萬谷摩美子 イワオ薬局日赤病院前ミタス伊勢店・薬剤師・山中幸典 JA広島総合病院・薬剤師・平井俊明 株式会社大賀薬局野芥調剤店・薬剤師・江口真理子 医療法人平和の森ピースホームケアクリニック・薬剤師・原田奈津子 横浜市立みなと赤十字病院・薬剤業務課薬剤部付係長(地域連携担当)・宮崎百合</p>
6. 研究の目的・意義	<p>【研究の目的】 終末期の患者が在宅療養へ移行する際、退院前より在宅関係者と医療関係者間での情報共有を行う退院前カンファレンスが実施されます。薬剤師も、病院薬剤師・薬局薬剤師を含む薬剤師もカンファレンスの場に積極的に関わることが求められますが、参加できていないことが散見されています。薬剤師参加による退院前カンファレンスの有用性の報告はありますが、全国規模での実態調査はされていません。そこで終末期医療に関わる薬剤師の退院前カンファレンスに関する有用性及び参加への弊害を含む実態を全国的なアンケート調査を実施し明らかとすることを目的としています。</p> <p>【研究の意義】 病院薬剤師、薬局薬剤師の退院前カンファレンス参加の現状を調査することで、退院前カンファレンス参加の有用性もしくは参加することができない要因が明らかとなると期待されます。全国的な実態を評価・公開することで、在宅医療に関わる薬剤師への退院前カンファレンスの参加率向上に寄与でき、病院薬剤師及び在宅医療に関与する薬局薬剤師の情報共有を強くすることで、患者のQOLを最期まで維持することがより可能となると考えられます。</p>
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	<p>日本緩和医療薬学会に所属している薬剤師を対象としており、研究実施期間中に、日本緩和医療薬学会のメーリングリストを介して本研究への参加案内とアンケートを送付します。同意が得られた方のみ、本研究のアンケートにご回答いただきます。本研究では試料は扱いません。</p> <p>本学においては、他施設で解析されたアンケート集計結果の評価および考察を行います。</p>

8. 利用または提供する 試料・情報の項目	アンケートは匿名で行い、個人情報収集しません。 本学においては、他施設で解析されたアンケート集計結果の評価および考察を行います。
9. 研究対象者またはその 代理人の求めにより、研究 対象者が識別される資料・ 情報の利用または他の研究 機関への提供を停止するこ と及びその方法	本研究への参加に同意いただけない場合はアンケートに回答しなくて構いません。 また、同意撤回を希望される場合は、下記連絡先までお知らせください。その場合、一切の不利益はありません。
10. 研究資金・利益相 反	本研究は運営費交付金により実施し、利益相反はありません。
11. お問い合わせ先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 - 6 大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・助教・仁木一順（本学の研究責任者） 06-6879-8250 k-niki@phs.osaka-u.ac.jp